

2019年度一般社団法人日本生理学会第2回理事会議事録

日 時： 2019年11月17日（日） 13:00～16:40

場 所： 東京慈恵会医科大学 2号館10階1001

[出席者]

理事長 丸中良典（議長）

理 事 赤羽悟美、石川義弘、入來篤史、上田陽一、浦野哲盟、岡村康司、尾仲達史、
小野克重、加藤総夫、狩野方伸、久保義弘、桑木共之、白尾智明、黒澤美枝子、
蔵田 潔、桑木共之、小西真人、小林 誠、小山なつ、齋藤康彦、酒井秀紀、
渋谷まさと、鷹野 誠、多久和典子、田中潤也、富永真琴、中島 昭、長峯 隆、
鍋倉淳一、花田礼子、林由起子、平野勝也、八尾 寛、和田 真、渡辺修一、
渡辺 賢（計36名）

監 事 内田さえ

陪席者 北澤 茂、倉智嘉久、佐久間康夫、椎橋実智男、當瀬規嗣、橋谷 光、
飛田秀樹、日比野浩、吉田さちね、吉村由美子

[欠席者]

理 事 伊佐 正、尾松万里子、鯉淵典之、中村和弘、福田敦夫（計4名）

定数41名に対し37名の理事が出席し、定款により、本理事会は適法に成立した。

I. 報告及び協議事項

1. 理事長挨拶

定刻となり開催する旨宣言された。

2. 庶務報告（丸中理事長）

以下2点について報告がなされた。

- 1) 理事の柏柳誠氏（2019/7/17）の弔事が報告され、出席者で黙祷を捧げた。
- 2) 日本生理学会（以後、PSJ）には10月31日時点で2,749名が在会している。

3. 財務報告（石川副理事長）

以下2点について報告がなされた。

- 1) 英文誌”The Journal of Physiological Sciences”（以後、JPS）の購読料収入や会費収入、科研費収入があることから、決算額（見込み）が2019年度予算額より上回る予定である。
- 2) ①FAOPS2019&第96回日本生理学会大会（以後、神戸大会）で発行された大会抄録集の費用を神戸大会が負担したこと、また②JPSの送料が発生しなかったこと、の2点により経常費用が予算額より下回った。

II. 審議事項

1. 2019年度予算執行状況について

石川義弘財務担当副理事長より報告があり、承認された。

2. 2020年度予算案について

石川義弘財務担当副理事長より、経常収益、経常費用とも例年並みであること、また経常収

益には科研費を含めていないことが説明され、承認された。

3. 日本生理学会 100 周年事業について

100 周年を迎えるにあたり記念行事を開催したいとの意向を諮り、承認された。2020 年度から 2022 年度までの予算で、50 万円を積み立てる。行事内容は未定のため、参考として 50 周年時の企画を確認する。また PSJ 会員に、広く企画案を募りたい。

4. 定款あるいは理事選挙規則の改定

現状の定款では最大 1 年の欠員が生じることが、柏柳誠理事ご逝去の件で法務局に相談して判明した。欠員を避けるためには、社員総会時に次点あるいは次々点候補者を、予め公開し、現職理事の諸事情により欠員が生じた際に繰り上げて就任することが承認される必要がある。欠員が生じる現状維持か、あるいは欠員を補充するべく定款を改定するか継続審議とし、2020 年度第 1 回理事会に諮ることとする。

5. 地区別理事選出時の補欠候補の取り扱いについて

審議事項 4 の審議結果に関わるため、審議事項 4 とともに継続審議とする。

6. 終身会員について

小西真人会員委員会委員長から提案があり、承認された。

7. 特別幹理事の選出について 「国際学会幹および大会幹理事の選出に関する内規」の変更点

「国際学会幹および大会幹理事の選出に関する内規」に大会長幹の特別幹を追加した案を、次回理事会で報告する。

8. 会員規約の改定

審議事項 6 で終身会員が承認されたため、会員規約は改定しない。

9. FAOPS2019 会計及び余剰金の使途について

加藤総夫 FAOPS2019 財務担当より財務報告があり、承認された。FAOPS 本体へ、余剰金のうち 10,000 米ドルの送金を審議し、承認された。残る余剰金については、PSJ の発展に寄与できる活用方法を、集会委員会で検討する。

10. アウトリーチ活動の進め方について

渡辺賢将来計画委員会委員長より提案があり、活動の重要性から PSJ として実施すべきではあるが、将来計画委員会活動から切り離す方向で継続審議とし、2020 年度第 1 回理事会に諮る。

11. 募集情報の範囲について

求人情報の周知依頼はこれまでも PSJ に届いており、掲載担当者の判断で HP に掲載していた。依頼内容が多様化してきたため、ガイドラインを上田陽一編集・広報委員会委員長と執行部で検討し、2020 年度第 1 回理事会に諮る。

12. 日本生理学会大会規約変更について（文言修正）

引き続き執行部で審議し、2020 年度第 1 回理事会に諮る。

13. 生命科学教育シェアリンググループとの関係について

1) 教育コンテンツ作成に、PSJ 会員が深く関わっている。

2) 1) により、コンテンツの所有権は PSJ にある。

3) 一般社団法人生命科学教育シェアリンググループ（以後、グループ）の法人化（2017 年 12 月 19 日）は、PSJ 理事会の承認を得ていない。

4) PSJ はグループに対して、今後もコンテンツの所有権を主張する。

5) PSJ とグループ間で、今後も教育コンテンツについて話し合っていく。

6) PSJ とグループ間でのコンテンツのブラッシュアップ等を含む連絡は両法人間の問題であるので、両法人の代表者をそれぞれの窓口として連絡を取り合う。

7) PSJ と生命科学教育シェアリンググループとは一歩一歩に関して、継続審議とする。

14. 義援金配分の実施について

渡辺賢副理事長から説明し、これまで通り、本年の激甚災害の被害を受けた以下の都道府県に

所属先、あるいは自宅がある正会員を対象とし、所定の書式による申請を受け付けることが承認された。申請の際には罹災証明等の書類は不要とする。

1) 配分対象者：以下の全てを満たす本学会の会員

- ・本年の激甚災害の被害を受けた以下の都道府県に所属先、あるいは自宅がある正会員
- ・申請時まで、2019年度の年会費納入済のこと

・岩手県	・宮城県	・福島県
・茨城県	・栃木県	・群馬県
・埼玉県	・千葉県	・東京都
・神奈川県	・新潟県	・山梨県
・長野県	・静岡県	・佐賀県
・長崎県	・熊本県	・鹿児島県

※2019年11月5日以降に、激甚災害に指定された災害の被災地の追加は、執行部で審議して決する。

2) 配分対象：別府大会の参加登録費全額

3) 配分方法：所定の書式に記入のうえ、大会会期中に学会受付へ持参

15. 会費納入方法について

海外に在住する会員は会費納入が困難な場合が多いとの事情を渡辺賢副理事長が説明し、paypal やクレジットカード払い等、新たな納入方法を模索することが承認された。執行部で引き続き検討し、理事会に諮る。

16. 学会名 商標登録について 進捗状況報告

渡辺賢副理事長から、現在畝本国際特許事務所による手続きが進められていることが、報告された。

17. 会員管理システムのリニューアルについて

2020年2月公開に向けて作業を進めていることを、事務局が説明した。リニューアルに伴い、会員には初期パスワード再設定の手間が生じる。メールアドレス未登録の会員へは、郵送等で周知を心掛ける。郵送代等、案内にかかる費用はIMIC負担とする。

18. 消費税増税の影響および対応について

日生誌の裏表紙に記載している価格を、2020年2月発行分より、2,200円とする。これは購入価格とし、準会員の会費に影響しない。

19. 用語統一について

佐久間康夫「生理学用語集」用語編集委員会委員長より、生理学の用語集発行に向けて活動していることが報告された。

20. その他

次回理事会等の日程は、以下の通りとする。2020年度第1回理事会後に、理事懇親会を会費制で開催する。

別府大会：2020年3月17日（火） - 3月19日（木）

2020年度第1回理事会：2020年3月16日（月） 13:00 - 17:00

2020年度定時社員総会：2020年3月17日（火） 13:20 - 14:20（予定）